

障害者の生活、介護等に関する実態調査の概要について
(障害者及びその家族へのアンケート調査より)

資料 1

アンケート調査数

障害種別	発送数	未達数	回収数	回収率
身体障害者	18,944	/	/	/
知的障害者	7,820			
精神障害者	3,050			
発達障害者	443			
高次脳機能障害者	55			
合計	30,312			

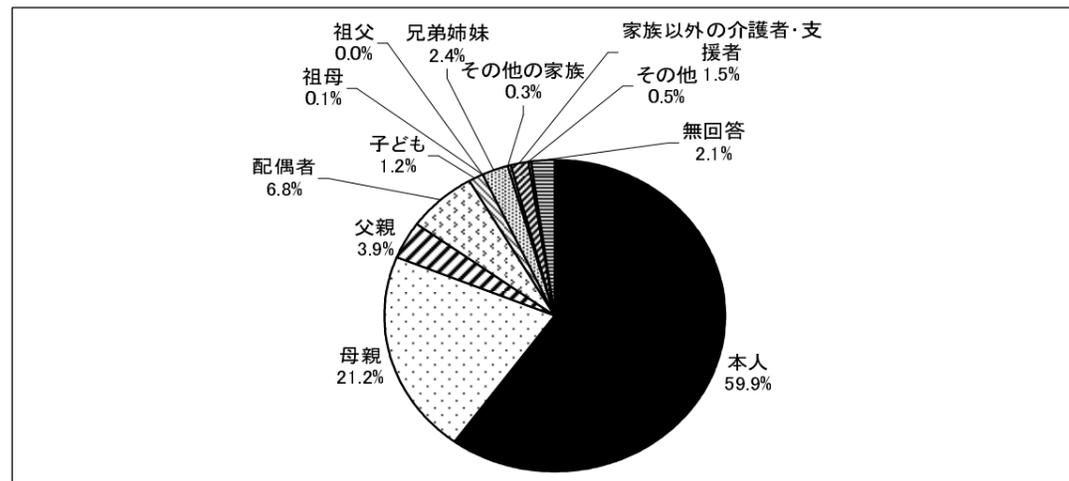
アンケートの実施方法

障害種別	調査対象者及び発送方法等
身体障害者	県及び奈良市が保有する身体障害者手帳のデータにより、奈良市在住者は奈良市から発送
知的障害者	県が保有する療育手帳所持者を対象として発送
精神障害者	県精神保健福祉センターが保有する精神保健福祉手帳の所持者を対象として発送
発達障害者	発達障害者支援センター「でいあー」及び発達障害者の当事者・家族の会等を通じて発送
高次脳機能障害者	高次脳機能障害者支援センター及び高次脳機能障害者の当事者・家族の会等を通じて発送

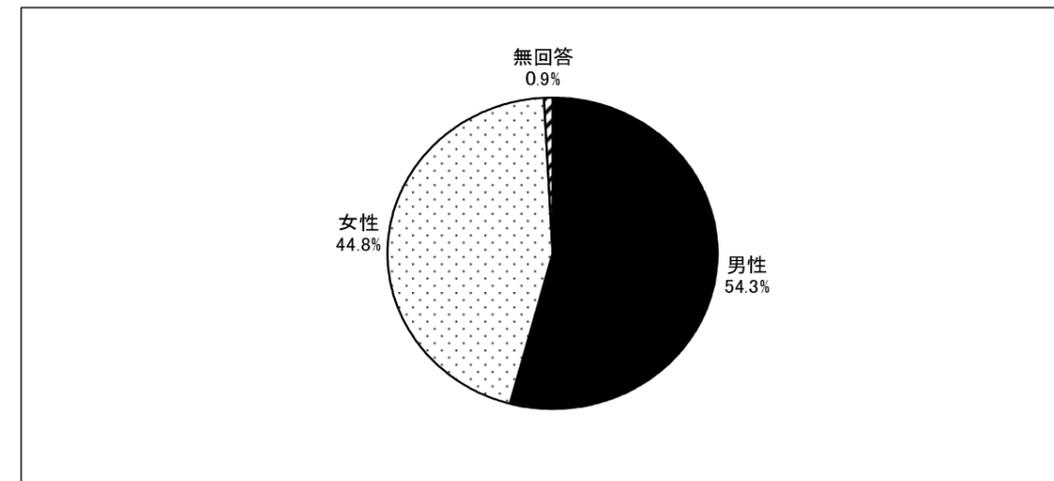
基本属性

今回のアンケート記入者は、「本人」が59.9%と6割近くを占め、性別は、「男性」の割合が54.3%、「女性」が44.8%とほぼ半数ずつで、若干男性の方が多くなっている。
年齢分布は、「50～59歳」が最も多く21.4%であり、障害の種類では、「身体障害」が65.6%、「知的障害」が23.6%、「精神障害」が13.4%、「発達障害」が5.4%、「高次脳機能障害」が2.0%となっている。

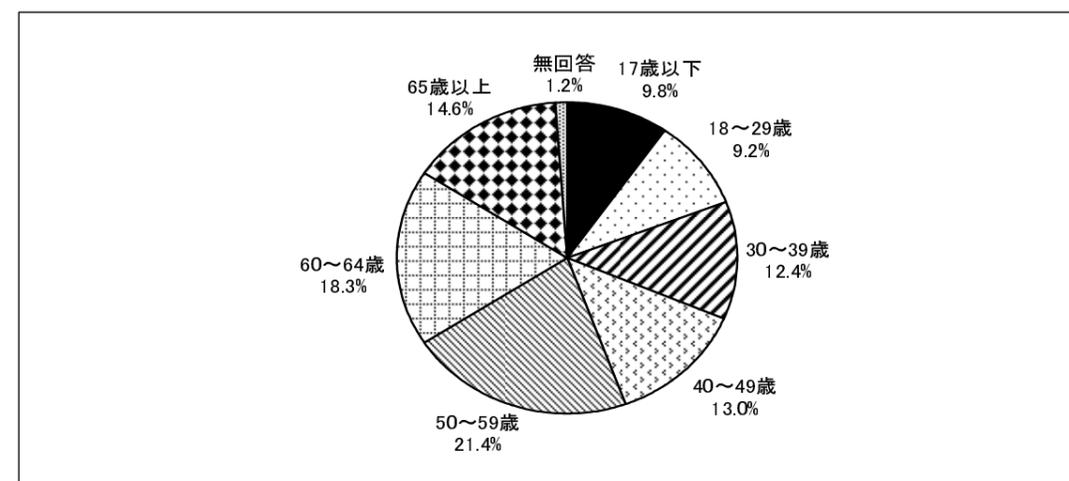
アンケート記入者[N=12,188]



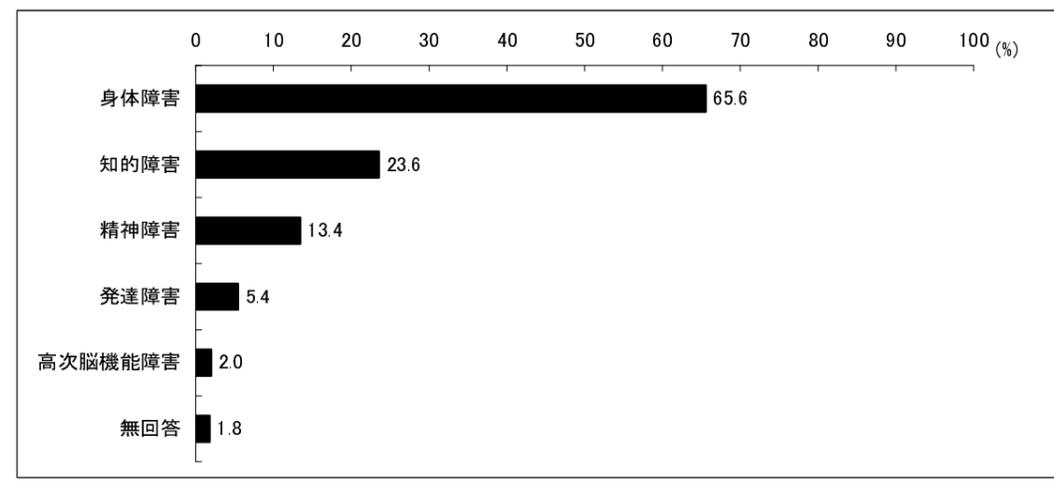
性別[N=12,188]



年齢[N=12,188]



障害の種類[N=12,188; 複数回答]



※ 回答者について障害種別ごとにみると、身体障害者(65歳未満)では80.4%が、精神障害者(65歳未満)では70.7%の割合で本人が回答しているのに対して、同じ65歳未満と比較しても知的障害者では本人による回答は18.2%にとどまる。

反面、知的障害者(65歳未満)では、母親による回答が60.9%、父親が11.1%であり、7割以上が両親による回答となっている。

※ 対象者の年齢構成を障害種別ごとにみると、知的障害者と精神障害者では、65歳以上がそれぞれ1.6%(30/1,904)、5.3%(68/1,292)であるのに対して身体障害者では65歳以上が22.0%(1,572/7158)である。

障害者の生活・介護等に関する実態調査から観る身体障害者（65歳未満）の課題と施策

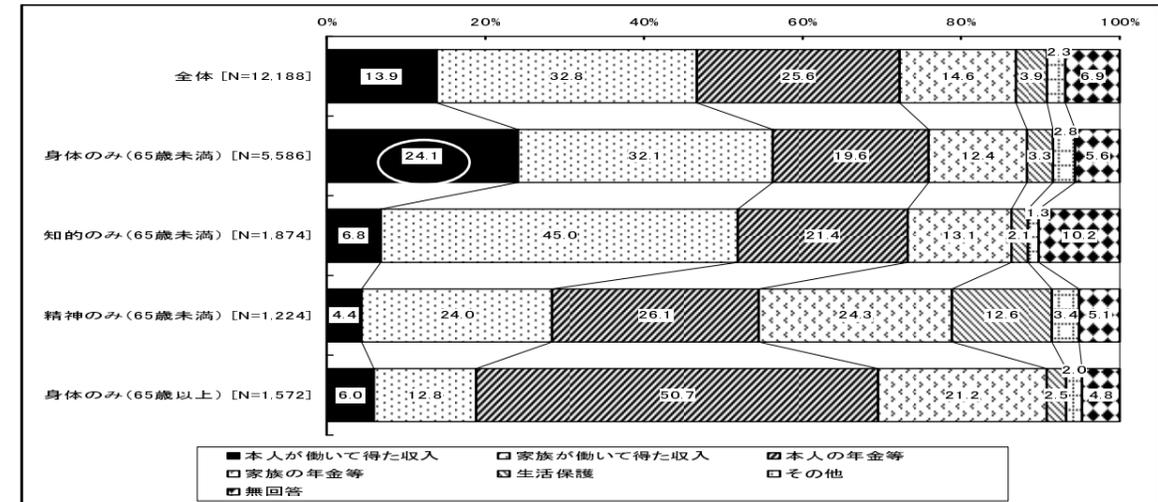
Q19 現在の住まい

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,224	1,874	5,586	12,188
持ち家(一戸建て)	53.8	60.0	70.5	66.0
持ち家(長屋建て)	1.1	1.0	1.2	1.1
持ち家(分譲マンション)	5.3	5.4	5.8	5.4
借家(一戸建て)	2.9	2.2	2.8	2.6
借家(長屋建て)	3.4	1.9	2.2	2.1
借家(マンション・アパートなど)	12.7	4.7	5.9	6.1
公営住宅(県営・市町村営など)・UR賃貸住宅	9.2	5.3	6.4	6.2
社宅・寮・官舎など	0.8	1.0	0.5	0.6
間借り	1.2	0.6	0.6	0.7
医療機関(病院等)に入院中	3.6	0.4	1.1	1.5
グループホームに入居	0.9	1.0	0.0	0.4
ケアホームに入居	0.2	2.1	0.1	0.5
障害者施設に入所	1.6	11.7	1.2	3.9
介護保険施設に入所	0.0	0.0	0.3	0.4
その他	0.8	1.1	0.3	0.7
無回答	2.1	1.4	1.1	1.6

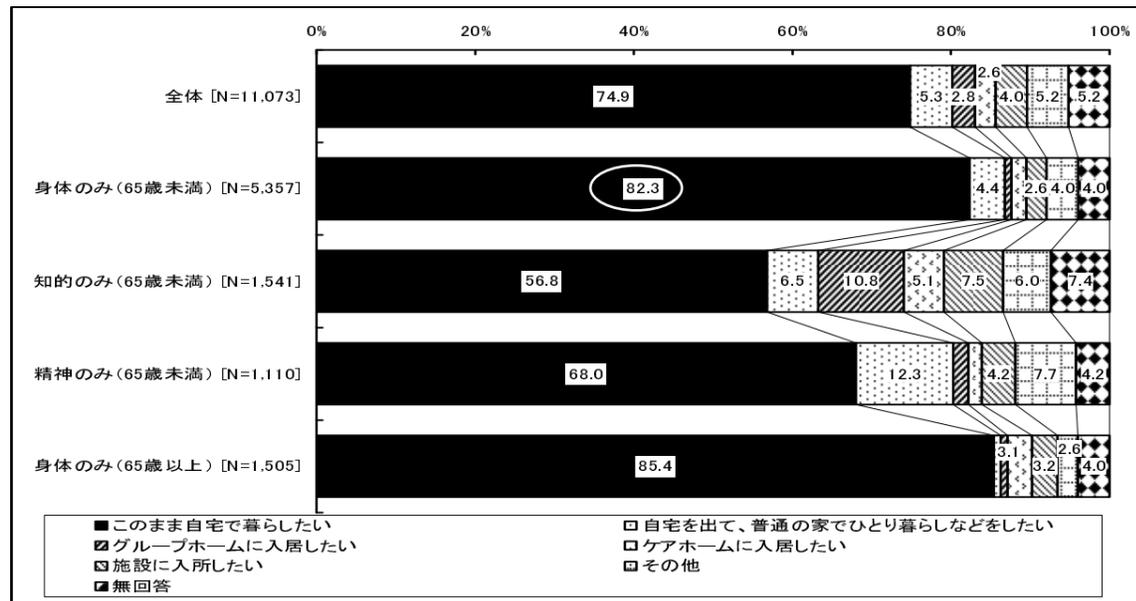
Q21(3) 自宅で不便なところ

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,110	1,541	5,357	11,073
階段や段差が多い	16.2	8.1	30.1	24.2
出入口、廊下などの幅が狭く移動が困難	5.3	2.5	7.9	7.0
トイレ、浴室、台所などのスペースが狭く利用が困難	11.5	7.1	12.3	11.7
家屋の構造や設備に問題はないが、手すりなど障害を補う設備が不足	5.5	3.8	15.2	11.8
その他	9.4	5.2	5.9	6.6
特に困っていない	58.2	71.3	49.4	53.4
無回答	10.2	9.2	4.5	6.4

世帯の主な収入源



将来暮らしたい場所



Q44(1) パソコン等の使用状況

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,224	1,874	5,586	12,188
パソコンを使っている	25.1	10.4	39.2	26.8
携帯電話を使っている	39.7	22.1	50.2	37.6
その他の情報機器を使っている	1.1	0.4	1.4	1.1
いずれも使っていない	38.9	48.1	24.7	35.0
無回答	12.5	24.6	11.0	16.7

Q44(3) パソコン等の使用目的

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	595	512	3,591	5,890
職場や通所施設などで、仕事の道具として使っている	11.9	7.8	30.0	22.2
自宅で、在宅勤務の道具として使っている	5.4	1.8	5.3	4.6
家族や友人・知人とのコミュニケーションの手段として使っている	73.4	72.3	73.1	71.3
必要な情報を探したり、相談などをするための手段として使っている	46.7	25.4	45.9	41.7
情報発信(ブログ等)や新しいネットワークをつくるための手段として使っている	10.3	4.5	6.8	6.5
学習を補助する道具として使っている	8.9	6.4	10.3	9.8
創作活動のための道具として使っている	7.6	3.5	4.5	4.7
その他	6.2	10.7	4.0	5.9
無回答	3.4	5.7	2.5	3.9

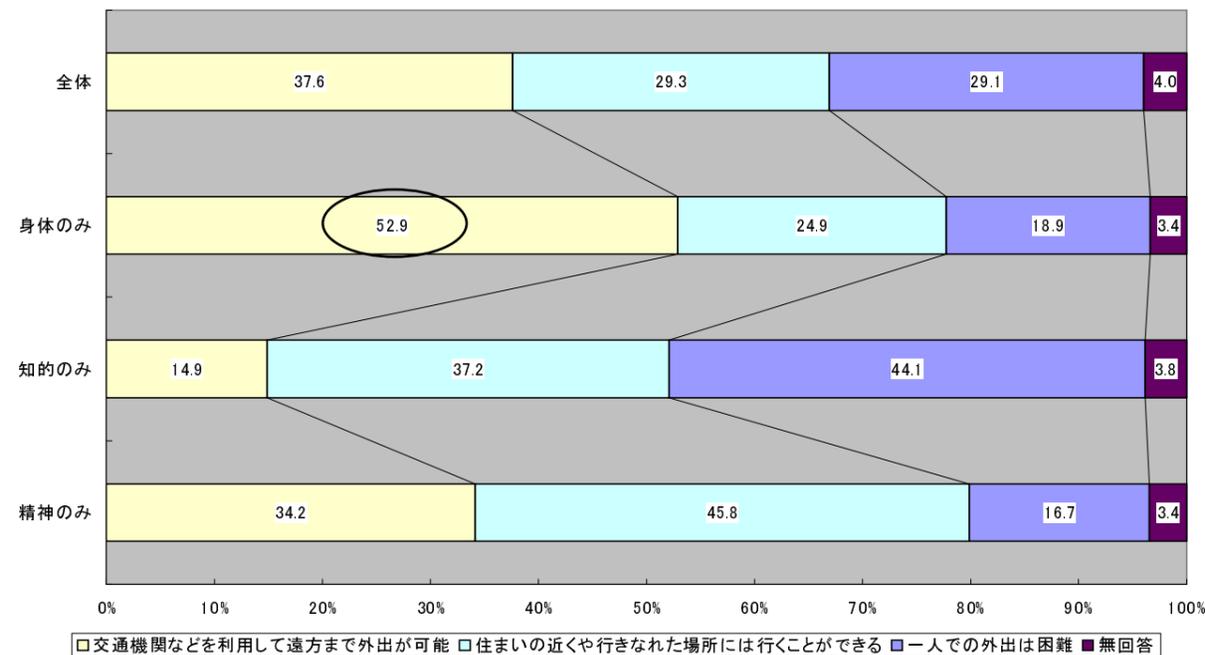
Q29 世帯の暮らしむき

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,224	1,874	5,586	12,188
生活に十分余裕がある	3.2	6.9	7.8	6.7
生活できる収入はあるが、それほど余裕はない	32.7	32.4	39.3	37.0
生活するのにぎりぎりの収入である	37.3	34.6	32.2	33.8
生活費が不足しがちである	18.4	11.7	14.2	13.9
無回答	8.4	14.4	6.4	8.6

Q32(1) 今の生活状況の感じ方

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,224	1,874	5,586	12,188
満足	7.3	11.4	9.6	9.3
やや満足	6.6	8.5	8.6	8.3
普通	30.4	44.5	40.7	40.5
やや不満	26.8	17.5	23.3	22.3
不満	24.8	9.2	14.3	14.0
無回答	4.1	8.9	3.5	5.5

一人での外出



Q39(5) 今後の日中の過ごし方の希望

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,062	1,087	3,324	7,940
企業の正職員として働きたい	10.5	7.7	5.6	5.8
アルバイト・パートとして働きたい	14.8	6.1	11.9	9.2
自営業をしたい	2.2	0.3	2.5	1.8
自宅で内職などの仕事をしたい	4.0	2.4	6.7	5.1
自宅でパソコン等を使った仕事(在宅勤務)がしたい	5.1	0.5	6.3	4.1
通所施設などで工賃を得る仕事をしたい	5.9	25.8	1.3	6.2
障害者団体の活動やボランティア活動などをしたい	2.5	0.8	2.2	2.1
自宅や施設等で過ごしたい	21.7	15.8	16.2	17.7
その他	9.5	3.8	8.9	8.5
無回答	23.8	36.9	38.5	39.4

Q33(6) 外出で困ること

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,224	1,874	5,586	12,188
地域に公共交通が少ない・ない	14.3	9.7	13.1	12.6
駅やバスターミナルなどの施設がバリアフリーになっていない	2.2	1.5	12.7	8.8
鉄道やバスなどがバリアフリーになっていない(乗降車が困難など)	1.7	1.3	10.8	7.7
鉄道やバスなどの混雑時に利用しにくい	10.0	11.6	15.7	14.1
鉄道やバスなどを使うときに、切符の買い方や乗換えの表示などがわかりにくい	6.8	15.2	5.5	8.1
鉄道やバスなどを使うときに、駅員など頼れる人が少ない・いない	5.2	9.5	5.0	6.3
外出先の建物がバリアフリーになっていない(通路、トイレ、エレベーターなど)	2.5	1.8	14.2	10.0
道路に段差が多いなど、バリアフリーになっていない	3.0	2.7	17.3	12.6
道路の交通量が多く、通行が危険	9.2	11.4	10.8	11.3
介助者が確保できないことが多い	4.6	9.6	4.2	5.9
外出にお金がかかる	34.5	17.1	15.5	18.1
周囲の目が気になる	24.4	12.2	5.3	9.3
発作など突然の身体の変化が心配	21.0	9.0	10.6	12.1
道に迷ったときなど、どうしたらいいのかわからないので心配	14.6	25.1	2.7	9.6
視覚障害者や聴覚障害者などに対応した設備が少ない(誘導ブロックなど)	0.7	0.4	6.3	4.3
その他	7.1	6.7	6.4	7.0
特に困ることはない	19.4	17.9	27.8	22.9
無回答	14.3	21.1	13.1	16.3

Q46(1) 現在利用しているサービス

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,224	1,874	5,586	12,188
居宅介護(ホームヘルプ)	6.5	4.3	4.7	5.5
重度訪問介護	0.4	0.1	1.0	0.8
行動援護	0.7	7.4	1.2	2.7
重度障害者包括支援	0.2	0.1	0.1	0.2
生活介護	2.8	8.9	2.4	4.1
療養介護	0.5	0.3	0.3	0.4
児童デイサービス	0.2	4.8	0.3	2.0
短期入所(ショートステイ)	2.1	10.3	1.3	4.1
自立訓練(機能訓練)	0.6	0.4	1.7	1.7
自立訓練(生活訓練)	2.8	2.6	0.3	1.3
就労移行支援	2.0	2.1	0.1	0.8
就労継続支援(A型)	0.5	2.4	0.2	0.7
就労継続支援(B型)	6.8	5.8	0.2	2.0
移動支援	1.6	16.0	3.0	6.1
地域活動支援センター	12.9	1.6	0.6	2.3
日中一時支援	0.7	12.6	0.9	4.3
相談支援	9.1	1.7	0.7	2.1
従来からの通所施設サービス、作業所など	7.7	11.7	1.5	4.6
その他	6.3	2.0	2.4	3.1
日中サービスは利用していない	29.5	17.9	42.0	32.1
無回答	31.5	34.4	43.8	41.4

Q46(3) 今後利用したいサービス

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,224	1,874	5,586	12,188
居宅介護(ホームヘルプ)	12.3	7.7	7.9	9.9
重度訪問介護	1.4	0.5	1.6	1.7
行動援護	4.3	13.4	4.1	6.8
重度障害者包括支援	1.4	0.9	0.7	1.1
生活介護	8.8	12.0	5.5	8.0
療養介護	1.6	0.7	1.3	1.4
児童デイサービス	0.3	7.1	0.4	3.0
短期入所(ショートステイ)	5.3	21.0	2.6	8.1
自立訓練(機能訓練)	4.7	3.5	3.9	4.5
自立訓練(生活訓練)	7.4	6.8	1.5	3.9
就労移行支援	5.6	5.7	1.2	2.8
就労継続支援(A型)	3.4	4.3	0.5	1.6
就労継続支援(B型)	7.1	8.0	0.6	2.9
移動支援	3.6	21.7	5.6	9.3
地域活動支援センター	13.5	4.2	1.5	3.6
日中一時支援	4.2	17.2	2.5	6.8
相談支援	18.6	8.6	4.4	7.4
従来からの通所施設サービス、作業所など	9.2	15.6	1.5	5.8
その他	4.0	2.7	2.8	3.0
利用したい日中サービスはない	16.6	6.9	42.2	17.0
無回答	31.9	35.9	50.3	44.9

(身体障害者の課題と施策)

※ 身体障害者については、障害の種別（視覚・聴覚、肢体不自由、内部障害等）ごとにきめ細かく課題やニーズを把握・分析し施策等を検討することが必要。

○ 住まいとまちづくり

- ・自らの持ち家で暮らす人が多い。（70%超）
- ・しかし、その自宅に関しては、階段や段差が多く不便と感じる割合が30.1%と高い。
- ・それでも将来暮らしたい場所は「このまま自宅で暮らしたい」が80%を超える。
- ・半数以上の人々が、一人で遠方への外出が可能であるが、バリアフリー化が進んでいない施設に対する困難を感じる割合も高い。



【課題】

- ・住宅や交通機関及び公共施設におけるバリアフリー化が進んでいないため、生活や社会参加に困難・不便を生じる。

【現状】

- ・公共交通機関や駅のバリアフリー化を計画的に推進。
- ・住宅については、改修等個々で住宅整備を行っている。

【方向性】

- ・「住宅」と「まち」の整備による面的なバリアフリー化を進める。
- ・情報面を含めた総合的なバリアフリーの推進及び「人にやさしい街づくり」を推進し、身体障害者の社会参加を促進する。

○ 収入と生活状況に関して

- ・世帯の主な収入源は、本人の就労収入の割合が24.1%と高い。
- ・パソコンを使っている人の割合は、39.2%と高く、パソコンの使用目的では、「仕事の道具として使っている」が、30%である。
- ・在宅勤務の道具として使用している割合は、5.3%であり、必ずしも高いとは言えないが、今後の日中の過ごし方の希望として、自営業や内職・自宅での仕事等自宅で過ごすことを希望する割合が高い。

- ・「世帯の暮らし向き」や「今の生活状況の感じ方」に関する問では、「生活に余裕がある」、「満足」の割合が、他と比べて高い訳ではなく、賃金水準が必ずしも十分なものではないことが推測される。



【課題】

- ・身体障害者は、就労能力があるにもかかわらず、外出に困難を伴うため、社会参加や就労がしづらい。

【現状】

- ・パソコンを利用した一般的なテレワークにより就労を進めている。

【方向性】

- ・ITを活用した在宅勤務、テレワーク等をより一層進め、障害の特性に応じた多様な働き方や雇用機会の創出により、身体障害者が有する能力の活用を通じて賃金水準の向上を図る。

障害者の生活・介護等に関する実態調査から観る知的障害者の課題と施策

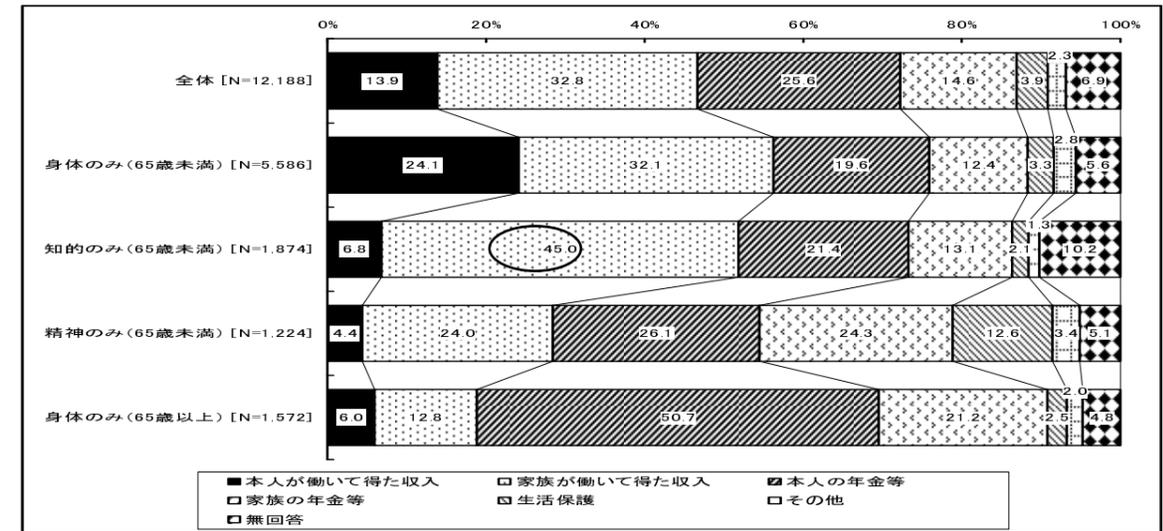
Q19 現在の住まい

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,224	1,874	5,586	12,188
持ち家(一戸建て)	53.8	60.0	70.5	66.0
持ち家(長屋建て)	1.1	1.0	1.2	1.1
持ち家(分譲マンション)	5.3	5.4	5.8	5.4
借家(一戸建て)	2.9	2.2	2.8	2.6
借家(長屋建て)	3.4	1.9	2.2	2.1
借家(マンション・アパートなど)	12.7	4.7	5.9	6.1
公営住宅(県営・市町村営など)・UR賃貸住宅	9.2	5.3	6.4	6.2
社宅・寮・官舎など	0.8	1.0	0.5	0.6
間借り	1.2	0.6	0.6	0.7
医療機関(病院等)に入院中	3.6	0.4	1.1	1.5
グループホームに入居	0.9	1.0	0.0	0.4
ケアホームに入居	0.2	2.1	0.1	0.5
障害者施設に入所	1.6	11.7	1.2	3.9
介護保険施設に入所	0.0	0.0	0.3	0.4
その他	0.8	1.1	0.3	0.7
無回答	2.1	1.4	1.1	1.6

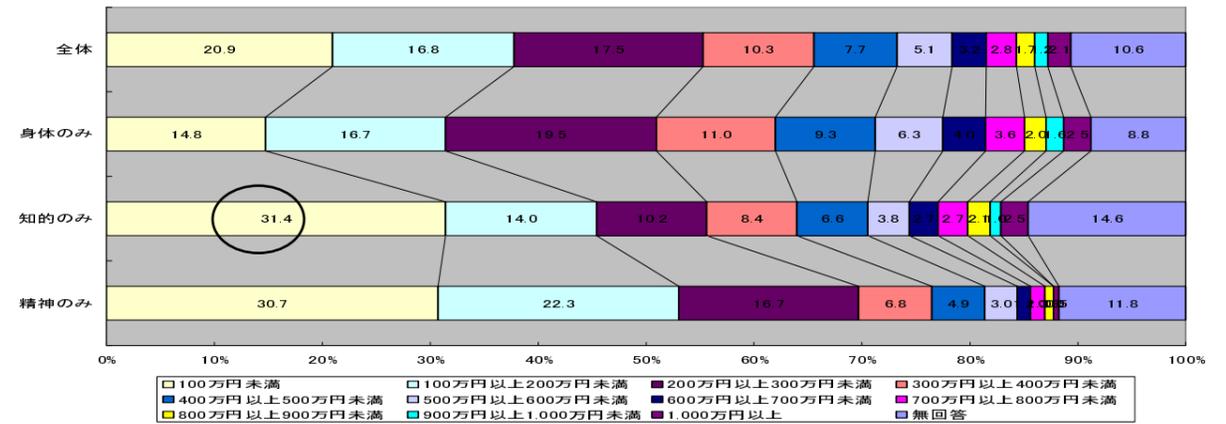
Q20 現在の入居・入所先の利用経緯

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	34	279	91	642
自分で入りたいところを探した	5.9	2.2	5.5	3.4
家族が自分にあったところを探してくれた	5.9	40.5	28.6	35.8
知人などに紹介してもらった	5.9	6.5	6.6	7.0
通園施設や学校などで紹介してもらった	2.9	14.7	1.1	9.8
障害者団体などに紹介してもらった	5.9	5.7	2.2	4.8
かかりつけ医や病院などに紹介してもらった	50.0	1.1	17.6	8.6
前に入っていた施設などに紹介してもらった	0.0	8.2	4.4	7.0
市町村の障害者福祉担当課や障害者福祉センターなどの窓口で紹介してもらった	14.7	21.9	29.7	24.0
その他	2.9	7.9	5.5	7.3
無回答	8.8	9.3	12.1	10.6

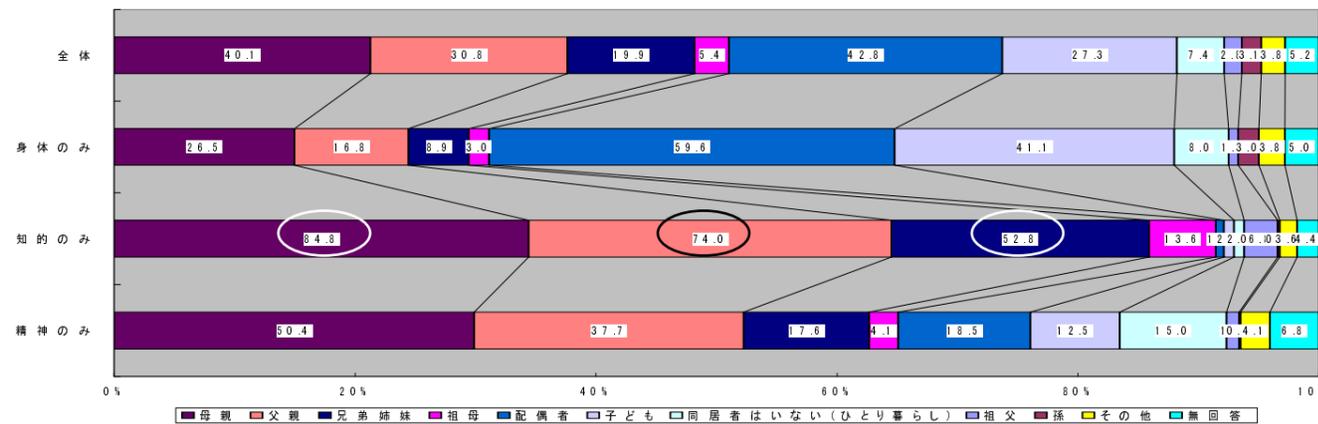
世帯の主な収入源



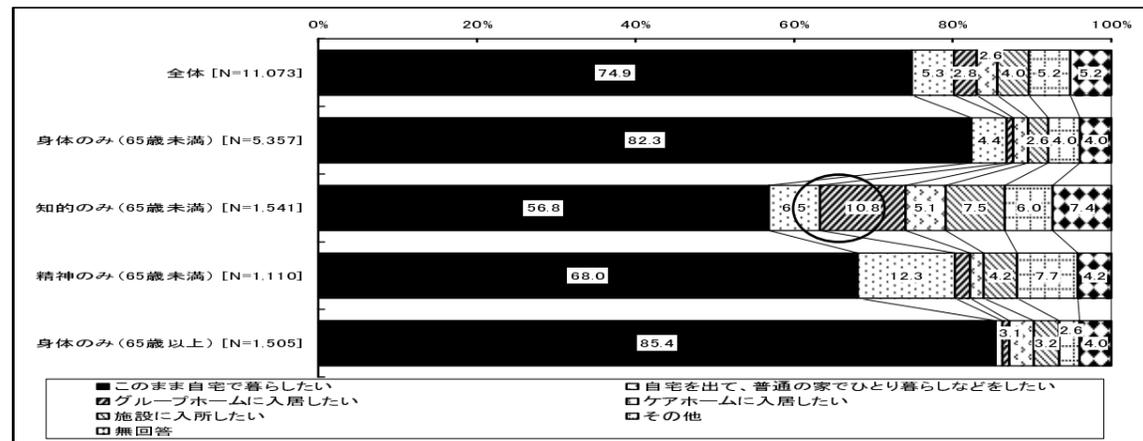
世帯の年間収入



同居家族



将来暮らしたい場所



Q39(1) 企業等で働いた経験の有無

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,062	1,087	3,324	7,940
ある	57.1	20.6	56.4	46.8
ない	13.8	36.7	6.7	14.1
無回答	29.1	42.7	36.9	39.0

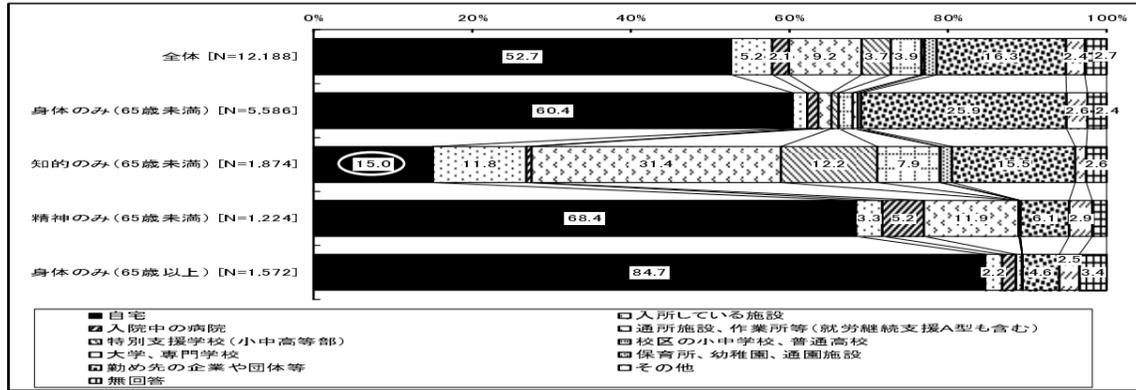
Q39(2) 企業等で働いていない理由

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,062	1,087	3,324	7,940
働きたいが就職先がない	13.6	16.7	13.1	11.9
自分がやりたい仕事がない	3.7	2.8	1.4	1.8
働く必要がないため	1.2	1.2	4.1	3.4
企業や自営業では働きたくない	0.7	3.5	0.4	0.9
障害が重く、働くことは無理である	21.6	28.2	19.2	22.3
病気のため、現在は働くことができない	33.6	3.1	13.4	14.2
家事専業である	4.4	1.0	15.1	9.2
その他	4.7	4.6	5.9	6.1
無回答	16.6	38.9	27.6	30.2

Q39(3) 働かない理由

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	20	51	149	334
働かなくても生活できる収入・蓄えがある	30.0	2.0	59.7	47.3
自分が働かなくても周りが支えてくれる	20.0	23.5	33.6	29.0
企業の仕事についていく自信がない	45.0	60.8	7.4	18.0
仕事をするうえでの人間関係などが不安である	50.0	60.8	6.0	17.4
特に理由はないが何となく働きたくない	20.0	9.8	5.4	8.1
その他	5.0	5.9	2.7	6.6
無回答	0.0	0.0	2.7	2.1

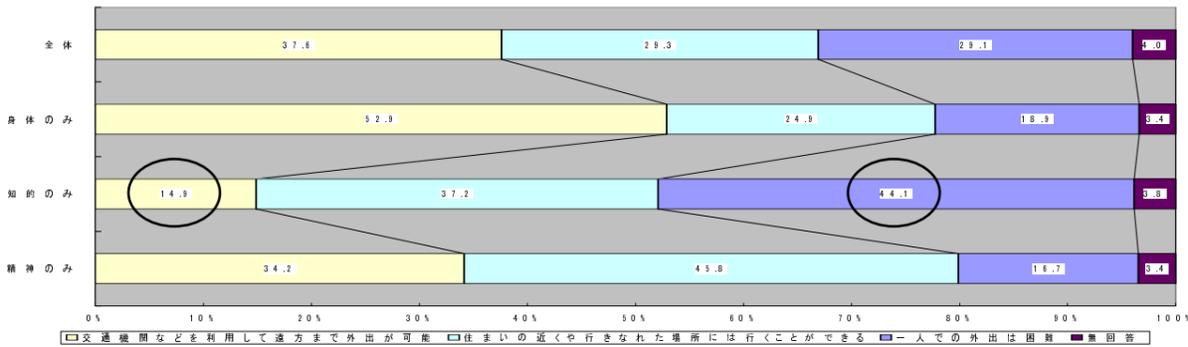
平日の昼間の居場所



Q39(5) 今後の日中の過ごし方の希望

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,062	1,087	3,324	7,940
企業の正職員として働きたい	10.5	7.7	5.6	5.8
アルバイト・パートとして働きたい	14.8	6.1	11.9	9.2
自営業をしたい	2.2	0.3	2.5	1.8
自宅で内職などの仕事をしたい	4.0	2.4	6.7	5.1
自宅でパソコン等を使った仕事(在宅勤務)がしたい	5.1	0.5	6.3	4.1
通所施設などで工賃を得る仕事をしたい	5.9	25.8	1.3	6.2
障害者団体の活動やボランティア活動などをしたい	2.5	0.8	2.2	2.1
自宅や施設等で過ごしたい	21.7	15.8	16.2	17.7
その他	9.5	3.8	8.9	8.5
無回答	23.8	36.9	38.5	39.4

一人での外出



Q42 困ったときの相談相手

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,224	1,874	5,586	12,188
家族や親せき	66.4	64.7	69.8	66.3
同じ障害のある友人・知人	21.7	10.7	14.5	13.3
障害者ではない友人・知人	12.2	4.3	18.2	12.7
職場の上司や同僚	2.0	5.5	5.4	3.9
施設の指導員など	19.7	26.4	3.4	11.2
障害者団体	3.1	5.4	2.8	3.3
かかりつけ医	42.2	5.9	22.8	21.6
市町村の障害者福祉担当課や障害者福祉センターなどの窓口	15.4	11.8	19.3	17.5
通園施設や学校などの先生	0.5	13.6	1.9	5.4
相談支援事業所などの相談窓口	9.8	4.6	2.5	4.2
その他	4.7	4.2	2.4	3.3
特にいない	5.6	3.3	6.7	5.6
無回答	3.5	11.4	4.5	7.4

Q46(1) 現在利用しているサービス

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,224	1,874	5,586	12,188
居宅介護(ホームヘルプ)	6.5	4.3	4.7	5.5
重度訪問介護	0.4	0.1	1.0	0.8
行動援護	0.7	7.4	1.2	2.7
重度障害者包括支援	0.2	0.1	0.1	0.2
生活介護	2.8	8.9	2.4	4.1
療養介護	0.5	0.3	0.3	0.4
児童デイサービス	0.2	4.8	0.3	2.0
短期入所(ショートステイ)	2.1	10.3	1.3	4.1
自立訓練(機能訓練)	0.6	0.4	1.7	1.7
自立訓練(生活訓練)	2.8	2.6	0.3	1.3
就労移行支援	2.0	2.1	0.1	0.8
就労継続支援(A型)	0.5	2.4	0.2	0.7
就労継続支援(B型)	6.8	5.8	0.2	2.0
移動支援	1.6	16.0	3.0	6.1
地域活動支援センター	12.9	1.6	0.6	2.3
日中一時支援	0.7	12.6	0.9	4.3
相談支援	9.1	1.7	0.7	2.1
従来からの通所施設サービス、作業所など	7.7	11.7	1.5	4.6
その他	6.3	2.0	2.4	3.1
日中サービスは利用していない	29.5	17.9	42.0	32.1
無回答	31.5	34.4	43.8	41.4

Q46(3) 今後利用したいサービス

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,224	1,874	5,586	12,188
居宅介護(ホームヘルプ)	12.3	7.7	7.9	9.9
重度訪問介護	1.4	0.5	1.6	1.7
行動援護	4.3	13.4	4.1	6.8
重度障害者包括支援	1.4	0.9	0.7	1.1
生活介護	8.8	12.0	5.5	8.0
療養介護	1.6	0.7	1.3	1.4
児童デイサービス	0.3	7.1	0.4	3.0
短期入所(ショートステイ)	5.3	21.0	2.6	8.1
自立訓練(機能訓練)	4.7	3.5	3.9	4.5
自立訓練(生活訓練)	7.4	6.8	1.5	3.9
就労移行支援	5.6	5.7	1.2	2.8
就労継続支援(A型)	3.4	4.3	0.5	1.6
就労継続支援(B型)	7.1	8.0	0.6	2.9
移動支援	3.6	21.7	5.6	9.3
地域活動支援センター	13.5	4.2	1.5	3.6
日中一時支援	4.2	17.2	2.5	6.8
相談支援	18.6	8.6	4.4	7.4
従来からの通所施設サービス、作業所など	9.2	15.6	1.5	5.8
その他	4.0	2.7	2.8	3.0
利用したい日中サービスはない	16.6	6.9	24.2	17.0
無回答	31.9	35.9	50.3	44.9

Q48 サービスを利用しやすくするために必要なこと

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,224	1,874	5,586	12,188
サービスの供給量を増やす	23.4	24.9	20.2	21.3
障害特性や障害者の年齢等に応じたきめ細かいサービスの種類を増やす	33.3	37.2	26.3	30.1
ヘルパーや施設職員等の障害に対する理解や介護技術をより向上する	20.9	28.2	14.5	18.9
サービス利用にあたっての相談やケアマネジメントなどの体制をより強化する	21.6	20.0	14.7	16.7
サービスの中で医療面のケアなどをより強化する	18.1	13.2	14.1	15.2
サービスの中で地域や企業等との連携をより強化する	17.4	12.4	7.5	9.8
通所やショートステイ等を利用する際の送迎サービスをより強化する	13.1	22.5	8.7	13.1
緊急時の対応や連絡などの体制をより強化する	21.4	19.4	16.2	17.7
利用料金の負担などをより低減する	35.9	38.5	32.8	34.2
その他	5.8	4.4	3.1	3.8
特に必要と思うことはない	9.1	4.9	7.6	6.8
無回答	26.1	28.8	36.9	34.5

Q59 行政の取り組みで必要なこと

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,224	1,874	5,586	12,188
地域住民の障害者への理解を深める啓発	36.9	36.1	26.0	29.4
地域住民との交流の促進	13.5	12.2	8.2	9.5
障害者の個々のニーズに対応した教育内容や教育体制の充実	17.3	22.6	15.4	18.0
機能訓練や日常生活訓練の場や機会の充実	14.5	13.0	16.3	16.1
職業訓練の充実や就労の促進・支援	25.5	25.5	20.1	20.2
障害者に必要な相談や情報を提供する体制の充実	40.5	28.8	34.2	33.0
在宅での生活を支える居宅介護などのサービスの充実	16.3	11.4	19.1	17.6
短期入所(ショートステイ)サービスの充実	8.3	16.3	7.2	10.5
障害者の個々の状況に応じた日中活動の場(軽作業、レクリエーション、創作活動など)の充実	21.1	26.6	11.9	16.3
グループホームやケアホームの整備推進	8.9	24.6	5.0	9.9
福祉用具の提供や住宅改修などのサービスの充実	6.5	3.6	21.5	15.3
盲導犬、聴導犬、介助犬などの普及推進	6.3	4.2	12.3	8.5
障害者団体や障害者自身の各種の活動に対する支援	15.6	14.0	11.7	11.9
授産施設や作業所等への支援	10.5	27.4	4.3	9.8
入所施設の充実・整備推進	8.3	21.7	7.0	11.2
福祉ホームや公営住宅など障害者の住まいの確保	19.1	15.1	13.2	13.7
交通機関、道路、公共施設や集客施設などのバリアフリーの推進	9.1	5.1	29.1	20.2
障害者に配慮した保健、医療体制の充実	30.1	25.8	33.5	30.7
障害者が参加しやすいスポーツやレクリエーション、文化活動の推進	8.9	13.0	8.5	9.2
障害者の権利擁護のための制度・基盤の整備	22.9	21.4	15.7	17.3
その他	6.0	2.9	3.0	3.2
無回答	19.9	21.0	20.2	21.9

(知的障害者の課題と施策)

○ 生活状況に関して

- ・ 自宅で親・兄弟と暮らしている方の割合が高い。
- ・ 一方、障害者施設で暮らしている方の割合も11.7%あり、将来暮らしたい場所としては、「グループホームに入居したい」も10.8%ある。
- ・ 現在の入所先は、「家族が自分に合ったところを探してくれた」が40.5%。
- ・ 世帯の主な収入源についても、「家族が働いて得た収入」が45.0%と半数近くを占める。
- ・ 困ったときの相談相手は、家族の他、「施設の指導員など」に相談する割合が26.4%と高く、市町村の相談窓口（11.8%）や相談支援事業所（4.6%）は低くなっている。



【課題】

- ・ 家族が中心となって自宅で支えており、家族依存型となっていることから、家族に対するサポート、相談支援体制の充実・質的向上。
- ・ 自立志向が高くグループホームの充実や民間賃貸住宅を活用し地域の住まいづくり。

【現状】

- ・ 市町村が相談支援を担い、地域課題の解決のため地域自立支援協議会を設置。（35市町村において19の地域自立支援協議会が設置済み）
- ・ グループホーム、ケアホームの重要性が指摘されているが、財政的支援が不十分であり、整備が進んでいない。

【方向性】

- ・ 家族へのサポート体制を充実させるため、県自立支援協議会による地域自立支援協議会の活性化に向けた動きかけを行い、市町村の相談支援の質の向上を図る。
- ・ グループホームの整備が進まないことについて要因分析のうえ、奈良県独自の効果的な整備手法を検討する。

○ 収入に関して

- ・ 企業等で働いた経験がある人は少なく（20.6%）、「働きたいが就職先がない」（16.7%）、「企業の仕事についていく自信がない」（60.8%）といった理由が高い
- ・ 平日昼間の居場所として、通所施設や作業所に通う者の割合が高いが、世帯の主な収入源は「家族が働いて得た収入」（45.0%）、「本人の年金」（21.4%）の割合が高く、一方で世帯の年間収入は100万円未満が31.4%である



【課題】

- ・ 福祉就労の工賃が低く、家族の収入や年金に依存し低所得の割合が高い。
〔 20年度工賃倍増計画対象施設の平均工賃実績額11,520円
障害基礎年金1級：82,510円/月、2級：66,008円/月 〕
- ・ 働きたいけれど働けない、企業についていけない。→ マッチング機能の充実・強化。

【現状】

- ・ 授産品の質の向上を目指し工賃倍増5カ年計画に基づき、国の補助を使って経営コンサルティング、設備整備等一定の助成を実施。
- ・ 障害者の職業紹介・マッチングに関してハローワーク及び特別支援学校が対応。

【方向性】

- ・ 経営団体、労働団体、福祉団体、行政による体制整備（社団法人の設立）。
- ・ アンテナショップによる作業所製品の高度化、販路拡大、商品開発。
- ・ 公的機関による授産品の調達の拡大。
- ・ 新設の社団法人が、企業と障害者の相互理解を進めると共に、将来的には職業紹介を実施。
- ・ 障害年金の給付水準の向上を国に働きかける。

○ 福祉サービスの利用に関して

- ・ 平日の昼間の居場所は、「自宅」が15%にとどまり、31.4%が通所施設や作業所に通う。
- ・ 一人で遠方まで外出が出来る人は14.9%、一人で外出は困難という人は44.1%。
- ・ 現在利用している福祉サービス及び今後利用したい福祉サービス共に、「短期入所（ショートステイ）」、「移動支援」、「日中一時支援」の割合が高い。
- ・ 今後の日中の過ごし方の希望では、「通所施設などで工賃を得る仕事をしたい」（25.8%）が高い。
- ・ サービスを利用しやすくするために必要なことでは、「障害特性や年齢に応じたきめ細かいサービスの種類を増やす」（37.2%）ことや「施設職員等の障害に対する理解や介護技術の向上」（28.2%）といった質の向上を求める傾向があり、また、「通所やショートステイを利用する際の送迎サービスを強化する」の割合も22.5%と高い。
- ・ 行政に望むことでは、「短期入所（ショートステイ）サービスの充実」（16.3%）、「障害者の個々の状況に応じた日中活動の場の充実」（26.6%）、「グループホームやケアホームの整備推進」（24.6%）のように日中の居場所の確保に関するものの他、「授産施設や作業所等への支援」（27.4%）、「入所施設の充実・整備推進」（21.7%）と作業所や施設の整備・充実を求める割合も高い。

【課題】

- ・ 知的障害者は、福祉サービスを利用し事業所に滞在している時間が長いこと、福祉サービスの質・量ともに充実を図る。

【現状】

- ・ 基盤整備等事業所への財政的支援を通じて経営の向上による人材の養成・確保。

【方向性】

- ・ サービスの中身の充実、授産施設等における作業等の質の向上を通じて、利用する障害者の満足度を高めるため、工賃アップと生活の質の向上を図る。

障害者の生活・介護等に関する実態調査から観る精神障害者の課題と施策

Q19 現在の住まい

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,224	1,874	5,586	12,188
持ち家(一戸建て)	53.8	60.0	70.5	66.0
持ち家(長屋建て)	1.1	1.0	1.2	1.1
持ち家(分譲マンション)	5.3	5.4	5.8	5.4
借家(一戸建て)	2.9	2.2	2.8	2.6
借家(長屋建て)	3.4	1.9	2.2	2.1
借家(マンション・アパートなど)	12.7	4.7	5.9	6.1
公営住宅(県営・市町村営など)・UR賃貸住宅	9.2	5.3	6.4	6.2
社宅・寮・官舎など	0.8	1.0	0.5	0.6
間借り	1.2	0.6	0.6	0.7
医療機関(病院等)に入院中	3.6	0.4	1.1	1.5
グループホームに入居	0.9	1.0	0.0	0.4
ケアホームに入居	0.2	2.1	0.1	0.5
障害者施設に入所	1.6	11.7	1.2	3.9
介護保険施設に入所	0.0	0.0	0.3	0.4
その他	0.8	1.1	0.3	0.7
無回答	2.1	1.4	1.1	1.6

Q20 現在の入居・入所先の利用経緯

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	34	279	91	642
自分で入りたいところを探した	5.9	2.2	5.5	3.4
家族が自分にあったところを探してくれた	5.9	40.5	28.6	35.8
知人などに紹介してもらった	5.9	6.5	6.6	7.0
通園施設や学校などで紹介してもらった	2.9	14.7	1.1	9.8
障害者団体などに紹介してもらった	5.9	5.7	2.2	4.8
かかりつけ医や病院などに紹介してもらった	50.0	1.1	17.6	8.6
前に入っていた施設などに紹介してもらった	0.0	8.2	4.4	7.0
市町村の障害者福祉担当課や障害者福祉センターなどの窓口で紹介してもらった	14.7	21.9	29.7	24.0
その他	2.9	7.9	5.5	7.3
無回答	8.8	9.3	12.1	10.6

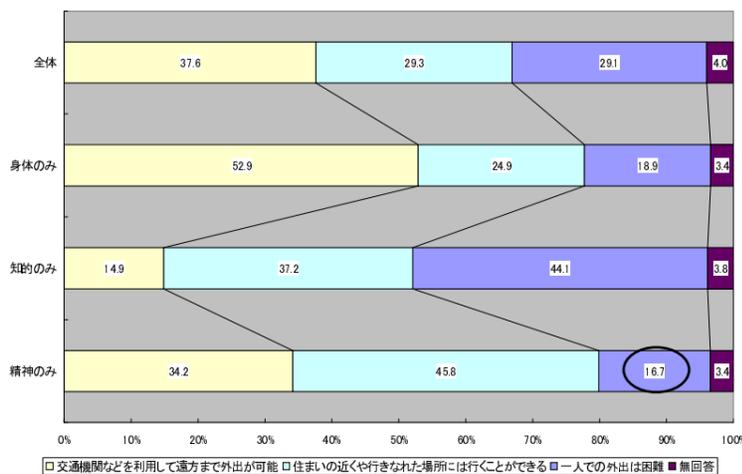
Q21(1) 同居家族

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,110	1,541	5,357	11,073
同居者はいない(ひとり暮らし)	15.0	2.0	8.0	7.4
母親	50.4	84.8	26.5	40.1
父親	37.7	74.0	16.8	30.8
配偶者	18.5	1.7	59.6	42.8
子ども	12.5	2.1	41.1	27.3
祖母	4.1	13.6	3.0	5.4
祖父	1.7	6.8	1.4	2.8
孫	0.3	0.5	3.0	3.1
兄弟姉妹	17.6	52.8	8.9	19.9
その他	4.1	3.6	3.8	3.8
無回答	6.8	4.4	5.0	5.2

Q21(2) 将来暮らしたい場所

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,110	1,541	5,357	11,073
このまま自宅で暮らしたい	68.0	56.8	82.3	74.9
自宅を出て、普通の家でひとり暮らしなどをしたい	12.3	6.5	4.4	5.3
グループホームに入居したい	1.9	10.8	0.9	2.8
ケアホームに入居したい	1.7	5.1	1.9	2.6
施設に入所したい	4.2	7.5	2.6	4.0
その他	7.7	6.0	4.0	5.2
無回答	4.2	7.4	4.0	5.2

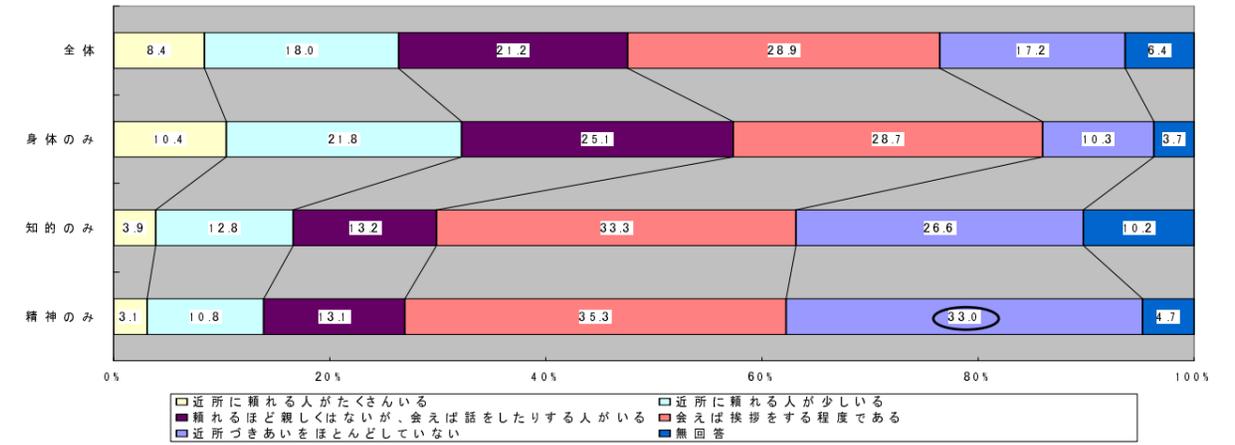
一人での外出



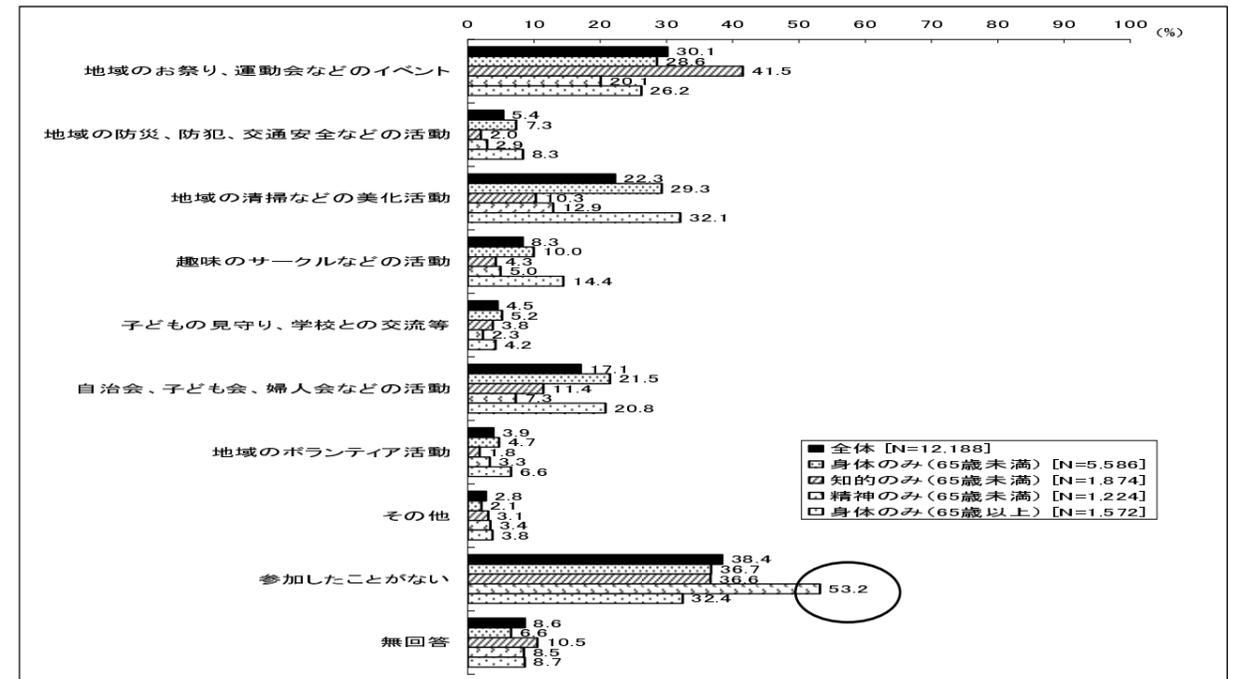
Q33(5) 外出する理由・目的

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	860	1,420	4,543	9,324
家族や親戚に会いに行く	9.3	9.3	13.6	12.3
友達や知人に会いに行く	18.1	8.5	20.0	17.1
買い物	69.8	46.1	60.3	57.7
散歩をする	30.6	22.8	18.2	22.3
仕事関係(通勤など)	12.8	21.5	36.0	24.7
団体の会合などに行く	3.6	2.6	5.2	4.4
趣味やスポーツなどをする	11.3	13.4	17.4	15.7
ボランティアなどの活動をする	3.0	0.7	3.4	2.9
病院に行く	59.9	16.0	40.5	39.0
通所施設などに行く	30.3	33.7	4.8	15.1
地域の行事や活動に行く	4.2	4.5	5.3	5.8
その他	7.2	15.0	7.0	10.4
無回答	2.6	3.5	2.8	3.1

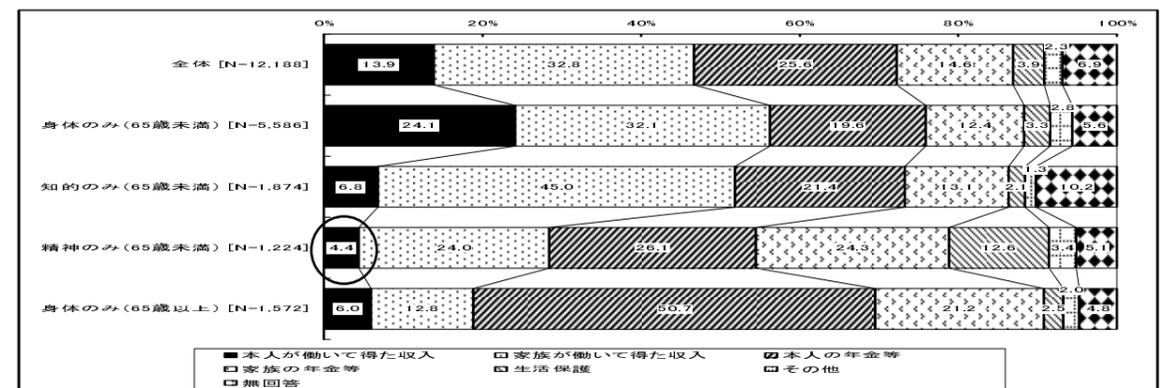
近所づきあいの程度



参加したことがある地域行事・活動[複数回答]



世帯の主な収入源



Q39(1) 企業等で働いた経験の有無

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,062	1,087	3,324	7,940
ある	57.1	20.6	56.4	46.8
ない	13.8	36.7	6.7	14.1
無回答	29.1	42.7	36.9	39.0

Q39(2) 企業等で働いていない理由

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,062	1,087	3,324	7,940
働きたいが就職先がない	13.6	16.7	13.1	11.9
自分がやりたい仕事がない	3.7	2.8	1.4	1.8
働く必要がないため	1.2	1.2	4.1	3.4
企業や自営業では働きたくない	0.7	3.5	0.4	0.9
障害が重く、働くことは無理である	21.6	28.2	19.2	22.3
病気のため、現在は働くことができない	33.6	3.1	13.4	14.2
家事専業である	4.4	1.0	15.1	9.2
その他	4.7	4.6	5.9	6.1
無回答	16.6	38.9	27.6	30.2

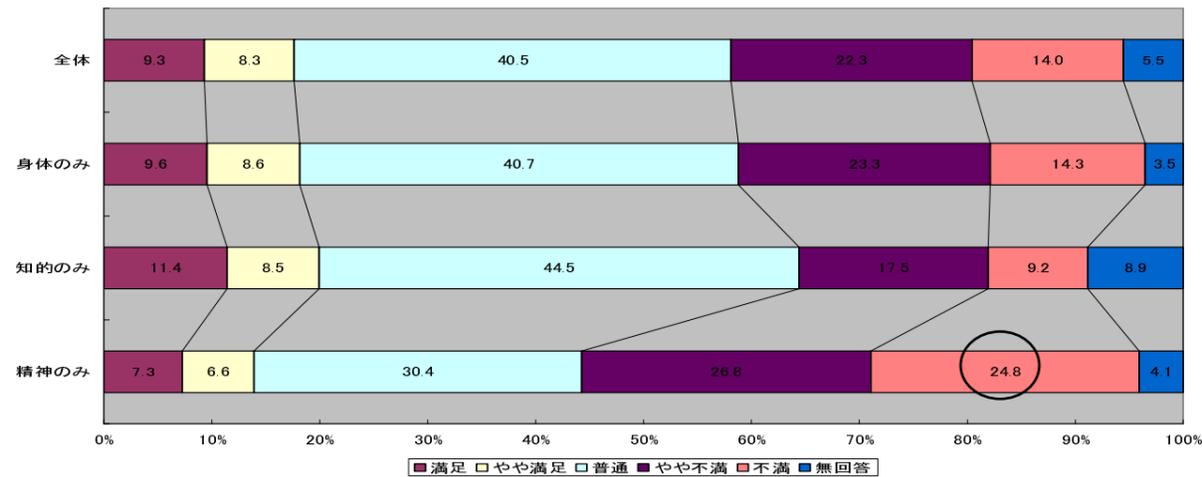
Q39(4) 働くことについてどう感じているか

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,062	1,087	3,324	7,940
働くことが好きで、やりがい・生きがいを感じる	8.2	9.8	10.6	9.8
自分のペースで好きな仕事ができるなら働きたい	41.9	33.5	36.0	32.7
できれば働きたくないが、収入を得るためには仕方がない	10.8	2.5	5.5	5.1
その他	12.4	8.0	6.7	8.2
無回答	26.6	46.2	41.1	44.1

Q39(5) 今後の日中の過ごし方の希望

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,062	1,087	3,324	7,940
企業の正職員として働きたい	10.5	7.7	5.6	5.8
アルバイト・パートとして働きたい	14.8	6.1	11.9	9.2
自営業をしたい	2.2	0.3	2.5	1.8
自宅で内職などの仕事をしたい	4.0	2.4	6.7	5.1
自宅でパソコン等を使った仕事(在宅勤務)がしたい	5.1	0.5	6.3	4.1
通所施設などで工賃を得る仕事をしたい	5.9	25.8	1.3	6.2
障害者団体の活動やボランティア活動などをしたい	2.5	0.8	2.2	2.1
自宅や施設等で過ごしたい	21.7	15.8	16.2	17.7
その他	9.5	3.8	8.9	8.5
無回答	23.8	36.9	38.5	39.4

今の生活状況の感じ方



Q42 困ったときの相談相手

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,224	1,874	5,586	12,188
家族や親せき	66.4	64.7	69.8	66.3
同じ障害のある友人・知人	21.7	10.7	14.5	13.3
障害者ではない友人・知人	12.2	4.3	18.2	12.7
職場の上司や同僚	2.0	5.5	5.4	3.9
施設の指導員など	19.7	26.4	3.4	11.2
障害者団体	3.1	5.4	2.8	3.3
かかりつけ医	42.2	5.9	22.8	21.6
市町村の障害者福祉担当課や障害者福祉センターなどの窓口	15.4	11.8	19.3	17.5
通園施設や学校などの先生	0.5	13.6	1.9	5.4
相談支援事業所などの相談窓口	9.8	4.6	2.5	4.2
その他	4.7	4.2	2.4	3.3
特になし	5.6	3.3	6.7	5.6
無回答	3.5	11.4	4.5	7.4

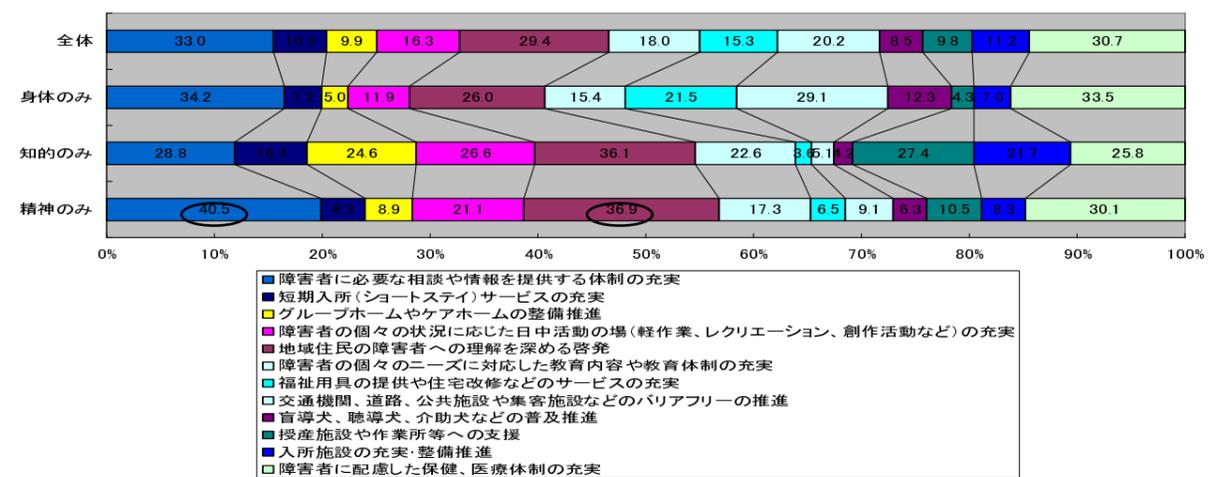
Q46(1) 現在利用しているサービス

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,224	1,874	5,586	12,188
居宅介護(ホームヘルプ)	6.5	4.3	4.7	5.5
重度訪問介護	0.4	0.1	1.0	0.8
行動援護	0.7	7.4	1.2	2.7
重度障害者包括支援	0.2	0.1	0.1	0.2
生活介護	2.8	8.9	2.4	4.1
療養介護	0.5	0.3	0.3	0.4
児童デイサービス	0.2	4.8	0.3	2.0
短期入所(ショートステイ)	2.1	10.3	1.3	4.1
自立訓練(機能訓練)	0.6	0.4	1.7	1.7
自立訓練(生活訓練)	2.8	2.6	0.3	1.3
就労移行支援	2.0	2.1	0.1	0.8
就労継続支援(A型)	0.5	2.4	0.2	0.7
就労継続支援(B型)	6.8	5.8	0.2	2.0
移動支援	1.6	16.0	3.0	6.1
地域活動支援センター	12.9	1.6	0.6	2.3
日中一時支援	0.7	12.6	0.9	4.3
相談支援	9.1	1.7	0.7	2.1
従来からの通所施設サービス、作業所など	7.7	11.7	1.5	4.6
その他	6.3	2.0	2.4	3.1
日中サービスは利用していない	29.5	17.9	42.0	32.1
無回答	31.5	34.4	43.8	41.4

Q46(3) 今後利用したいサービス

	精神のみ	知的のみ	身体のみ	全体
N=	1,224	1,874	5,586	12,188
居宅介護(ホームヘルプ)	12.3	7.7	7.9	9.9
重度訪問介護	1.4	0.5	1.6	1.7
行動援護	4.3	13.4	4.1	6.8
重度障害者包括支援	1.4	0.9	0.7	1.1
生活介護	8.8	12.0	5.5	8.0
療養介護	1.6	0.7	1.3	1.4
児童デイサービス	0.3	7.1	0.4	3.0
短期入所(ショートステイ)	5.3	21.0	2.6	8.1
自立訓練(機能訓練)	4.7	3.5	3.9	4.5
自立訓練(生活訓練)	7.4	6.8	1.5	3.9
就労移行支援	5.6	5.7	1.2	2.8
就労継続支援(A型)	3.4	4.3	0.5	1.6
就労継続支援(B型)	7.1	8.0	0.6	2.9
移動支援	3.6	21.7	5.6	9.3
地域活動支援センター	13.5	4.2	1.5	3.6
日中一時支援	4.2	17.2	2.5	6.8
相談支援	18.6	8.6	4.4	7.4
従来からの通所施設サービス、作業所など	9.2	15.6	1.5	5.8
その他	4.0	2.7	2.8	3.0
利用したい日中サービスはない	16.6	6.9	24.2	17.0
無回答	31.9	35.9	50.3	44.9

行政の取組で必要なこと



(精神障害者の課題と施策)

○ 生活状況に関して

- ・持ち家の割合(53.8%)が相対的に低く、借家(12.7%)で同居者のいない一人暮らしの割合(15.0%)が高い。
- ・現在の入居先の利用経緯は、家族が探すよりも医療機関からの紹介(50.0%)が高い。
- ・一人での外出が困難(16.7%)は低いが、外出目的は「通院」が59.9%と6割近い。
- ・困った時の相談相手も、「かかりつけ医」が42.2%であり、次いで「同じ障害のある友人・知人」が21.7%である。



【課題】

- ・人付き合いが乏しく支援者(家族を含む)との接点が少ない一方で、医師・医療機関との関わりが大きいことから、医師・医療機関との連携が課題。

【現状】

- ・各事業所や病院が個別に相談等対応している。

【方向性】

- ・各地域自立支援協議会が中心となって、地域レベルでの医師・医療機関とのネットワークを構築する。

○ 社会参加と就労・収入に関して

- ・近所づきあいを殆どしていない(33.0%)、地域行事に参加したことがない(53.2%)
- ・世帯の主な収入源は「本人が働いて得た収入」が4.4%と低い。
- ・57.1%の人が企業等で働いた経験があるが、「病気のため現在は働くことができない」という人も33.6%いる。
- ・しかしながら、「自分のペースで好きな仕事ができるなら働きたい」という人も41.9%にのぼる。
- ・今の生活状況の感じ方は、「不満」(24.8%)の割合が高い。
- ・今後の日中の過ごし方の希望では、「自宅で内職などの仕事をしたい」(4.0%)、「自宅でパソコン等を使った仕事(在宅勤務)がしたい」(5.1%)、「自宅や施設等で過ごしたい」(21.7%)等、自宅で過ごすことを希望する傾向が見られる。



【課題】

- ・障害特性から社会参加の機会が乏しく、また障害に対する理解も進んでいないため、就労や雇用が進まない。

【現状】

- ・精神障害者への職業紹介はハローワークが主として担っている。

【方向性】

- ・障害特性に応じた多様な雇用機会の創出(短時間労働、週・月当たり数日間の就労)を目指す。
- ・新設する社団法人の活動を通じて、企業と精神障害者の相互理解を促進し、企業と連携してマッチングのための職業紹介等の仕組みを構築する。
- ・県と社団法人による精神障害者の雇用促進に向けた啓発活動。

○ 福祉サービスの利用に関して

- ・現在利用している福祉サービス及び今後利用したいサービスともに「相談支援」、「地域活動支援センター」の割合が高い
- ・行政の取り組みで必要なことは「相談支援の充実」(40.5%)、「地域住民への理解を深める啓発」(36.9%)を望む割合が高い



【課題】

- ・「障害を理解してもらいたい」、「相談を聴いてもらいたい」という意識が強い。

【現状】

- ・医師・医療機関や施設で相談に応じている。

【方向性】

- ・相談支援体制の充実が重要であり、地域自立支援協議会が中心となって、地域の中の関係機関のサポート、ネットワークの構築、相談支援の充実・強化を図る。